

「日本語教育通信」は、海外の日本語教師を主な対象として、教材情報、授業のアイデア、日本事情や内外日本語教育情報等を提供するニュースレターです。2009年5月より、印刷物としての発行にかわり、ウェブサイトで公開しています。毎月末頃に、いずれかのコーナーの記事が更新されます。どうぞお役立てください！

目次



授業のヒント

「私の語彙リスト」を作ってみよう

2014年1月



文法を楽しく

「よう」(2)

「～ている・～ていた」(1)(2)

2013年10月、2013年12月、2014年3月



本ばこ

『異文化理解入門』

『もっと 中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』

『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う【教材編】』

『第二言語教育におけるバフチンの視点—第二言語教育学の基盤として—』

『中級からはじめるニュースの日本語 聴解40』

『日本語教師の7つ道具シリーズ5 読解授業の作り方編』

2013年10月～2013年3月

On the Web

以下の記事はウェブサイトのみにてご覧になれます。



海外日本語教育レポート

第28回

世界に広がる「JF講座」

国際交流基金 日本語教育支援部
JF講座チーム

2013年11月

『日本語教育通信』

編集：独立行政法人 国際交流基金

〒330-0074 埼玉県さいたま市浦和区北浦和 5-6-36 国際交流基金日本語国際センター

TEL：+81-48-834-1183 FAX：+81-48-831-7846

E-mail：jfnct@jpf.go.jp

印刷して保存するときにこの表紙をお使いください。



授業のヒント

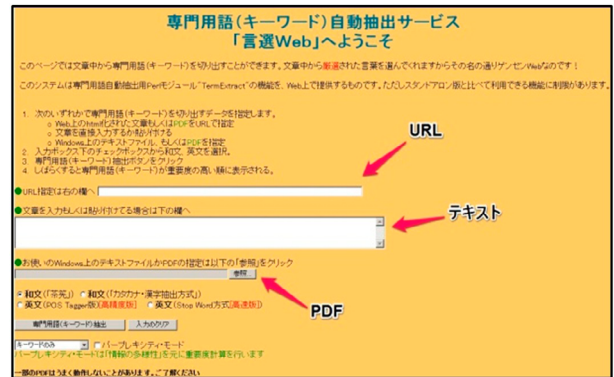
じゅ ぎょう

テーマ

「私の語彙リスト」を作ってみよう

わたし ご い つく

目標 もくひょう
自分の読みたいテキストから、キーワードを抜き出し、読解活動や語彙学習に活用する
学習者のタイプ がくしゅうしゃ
初級～上級 しよきゅう じょうきゅう
クラスの人数 にんずう
何人でも なんにん
準備するもの じゅんび
インターネット接続環境にあるPC（個人作業になるので、1人1台）、Microsoft office Excel



<「言選Web」>

- ※ URL 指定をする場合は、URL の「?」以降をすべて削除してください。
- ※ 画像として処理され、OCR 処理（文字認識）されていない PDF は抽出できません。

◆必要な語彙は学習者によって違う

「読解の授業に参加したけれど、自分の読みたいものはなかなか読めるようにならない」「読みたいものはあるけれど、難しい語彙が多くて…」という学習者、皆さんのまわりにもいませんか？「学習者が読みたいものがあるならば!!」と教師も語彙指導に取り組んでみたものの、学習者にとって必要な語彙はそれぞれ異なり、結局、学習者の期待に応えられたのか不安な気持ちを残したまま授業を終えていること、ありませんか？今回は学習者が読みたいと思っているものから語彙を抽出し、それぞれの学習者にあった語彙リストを作る方法を紹介しします。

◆読みたいものから必要な語彙を抽出

学習者が自ら学びたいと思うものには、自然と興味がかかりますし、覚えようとする意識もより一層、働きます。そこで、学習者には自分の読みたいテキストを各自、選んできてもらいます。これは Web 上のテキストでもいいですし、Word や PDF ファイルの文書でも構いません。

そして、学習者自身が選んだテキストから「言選 Web」というサイトを使って、キーワードを抽出します。このサイトの優れている点は、キーワードを抽出する際に、自動的に重要度を付けてくれることです。ここでは、他の語と結びついて複合語になることが多いほど、重要度が高いとされています。

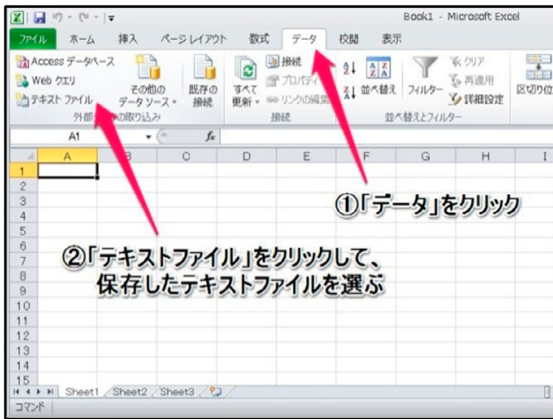
日本	79.37
国際交流基金	62.61
独立行政法人	60.25
日本語	52.44
法人	28.28
日本研究	23.53
開始	20.12
日本語教育	19.37
日本語国際センター	18.04
独立行政法人国際交流基金	18.01
国際協力機構	15.34
特定独立行政法人	14.84
研究者	13.17
派遣員	12.68
外務省	12.25
日本語学習者数	11.48
編集	11.00
関西国際センター	10.45
国際交流	10.44
事業	10.39
海外	10.00
国際文化交流	9.99
アジア	9.80
スーツ	9.49
文化	9.17
施設	8.94
サイト	8.66
国立国際医療研究センター	8.26
開発者	8.03
科学技術振興機構	7.92
国際環境	7.68
産業技術総合開発機構	7.63
国際文化交流事業	7.67

<キーワードと重要度を抽出>

◆キーワードリストから語彙リストへ

このように抽出したリストはいわばテキスト全体のキーワードリストであるため、「漢字語彙が読めない」、「すでに知っている語彙が多く含まれている」など、個々の学習者用にカスタマイズする必要があります。

そこで、このリストをテキストファイル (.txt) として保存し、Microsoft office Excel (以下、Excel) に取り込みます。このときの注意点はテキストファイルを取り込む際の設定画面で、「スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ」をクリックするようにしてください。これによって、語彙と重要度が別のセルに分かれたリストを作成することができます。

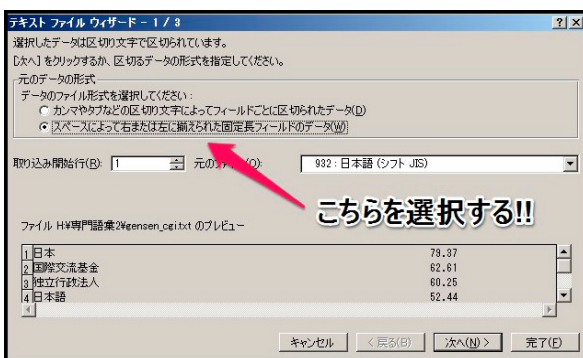


< Excelに取り込む >

しかし、この時点ではまだふりがなが振られておらず、Aの列とCの列は同じものが表示されています。そこで、Aの列のキーワードのセルを選んで、「Shift + Alt + ↑」を押すと、Cの列がカタカナに変わります。

	A	B	C	D	E
1	日本	79.37	ニホン		
2	国際交流基金	62.61	コクサイコリウキョウキキン		
3	独立行政法人	60.25	ドクリツキョウセイホウジン		
4	日本語	52.44	ニホンゴ		
5		28.28	ホウジン		
6	日本研究	23.53	ニホンケンキウ		
7		20.12	開始		
8	日本語教育	19.37	ニホンゴケイイク		
9	日本語国際センター	19.04	ニホンゴコクサイセンター		
10	独立行政法人国際交流基金	18.81	ドクリツキョウセイホウジンコクサイコリウキョウキキン		

< 漢字の読み方を表示させる >



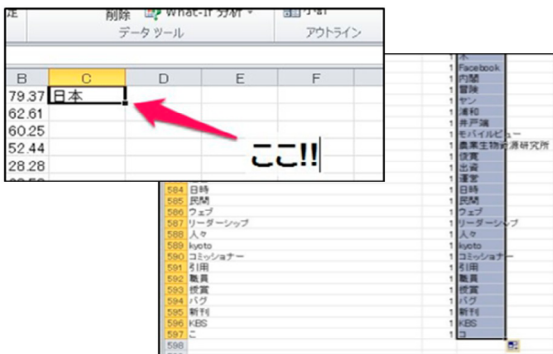
< 設定画面。「完了」ボタンを押すとリスト完成 >

◆ 「私の」語彙リストへとカスタマイズ

このようにすると、学習者自身が読みたいテキストに必要な語彙をリスト化できます。さらにExcel形式なので、すでに知っている語彙を削除したり、母語をつけたり、カテゴリーに分けたり、語彙自体を増やしていくことも容易にできます。

また、スマートフォンやタブレットに対応した「Quizlet」という別のサイトにこのリストを取り込むことで、移動時間などに語彙カードで暗記したり、語彙を使ったゲームやテストをすることもできます。取り込み方には少しコツが必要ですが、「さらに使いこなしたい!」という方はこちらも利用してみてもいいかもしれません。ぜひ皆さんの教室でも「私の語彙リスト」作成に挑戦してみてください。

リストができたら、次に漢字語彙の読み方を表示させます。現状では、Aの列にキーワード、Bの列に重要度が並んでいます。そこで、Cの列にそれぞれの語彙の読み方を表示させるため、リストのC1のセルにふりがなを表示させる関数「=PHONETIC(A1)」と書きます。そして、セルの右下にポインタをあわせ、黒い十字になったらそのままリストの一番下まで引っ張ります。



< ふりがなを表示させる >

参考資料

- 専門用語(キーワード)自動抽出サービス「言選Web」
<http://gensen.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/gensenweb.html>
- 「Quizlet」
<http://quizlet.com/>

このコーナーの担当者：伊藤 秀明(関西国際センター日本語教育専門員)

読者のみなさんからのアイデア、成功例、失敗例などぜひお寄せください。



は が
ほど くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

よう (2)

前回の「よう (1)」では「推量」と「たとえ」の用法を勉強しました。今回は「指示・命令」「祈願・願望」を表す「よう」、「ようにする」「ようになる」、そして、「目的(結果)」「例示」「前置き」を表す「よう」について考えます。今回の学習に当たっては、「よう (1)」の「よう」の意味用法の表を参考にしてください。

3. 「指示・命令」の「ように」について

次の文(1)(2)で、仕事を休む人は誰でしょうか。

- (1) 田中さんは山田さんに明日仕事を休むと言いました。
 (2) 田中さんは山田さんに明日仕事を休むように言いました。

(1)で田中さんは、「明日仕事を休む」と山田さんに言いました。ですから、仕事を休むのは田中さんになります。(2)では、田中さんは山田さんに「仕事を休むように」と言いました。「休むように」というのは、「休みなさい」「休め」「休んでください」のような命令や指示、また、依頼・助言などを表します。したがって、田中さんは次のように言ったことになります。

- (2)田中さんは山田さんに「明日仕事を休みなさい/休んでください」と言いました。

ですから、「明日仕事を休む」のは山田さんになりますね。このように「～ように言う」は、直接的な指示や命令を、間接的な表現を用いて伝える場合に用います。

ファンさんは体調が悪かったので、会社を早退して病院へ行きました。病院でファンさんは医者にいるいろいろなことを言われました。その夜ファンさんは、奥さんに病院へ行ったことを報告しました。(3)はその時のファンさんと奥さんの会話です。____には「ように」を使った文を入れてください。



- (3) 奥さん：お医者さん、何て言ってた？
 ファン：特に悪いところはないって。ただ・・・
 奥さん：ただ・・・？
 ファン：もっと規則正しい生活をするように言われたよ。
 奥さん：ほーら、だからいつも言ってるじゃない。タバコは？
 ファン：タバコも _____ 言われた。
 奥さん：お酒は？
 ファン：お酒もあまり _____ 言われたよ。

答えは「やめるように/吸わないように」と「飲まないように」になります。病院で医者がファンさんに直接命令・指示したことを、ファンさんは「ように言う/ように言われた」を使って、奥さんに間接的に伝えています。

4. 「祈願・願望」の「ように」について

あなたが何かを祈ったり、願ったりする時、日本語では「～ように祈る/願う」という表現をします。

- (4) 皆さんが幸せに暮らせるように祈っています。
 (5) 今度の仕事がうまく行くように祈っている。
 (6) 平和の願いが全世界に届くように祈ってください。
 (7) この記念碑は、人々の夢が実現するように願って、建てられました。

「～ように祈る/願う」の「ように」は、「そういう結果に、そういう状態に」「行きつく」「なる」という意味を含んでいます。したがって、「ように祈る/願う」の前には動詞の可能形(4)や自動詞(5)(6)が来ることが多いです。

また、次のように、「ように」の前に丁寧形が来たり、「祈る/願う」を省略した形も多く見られます。

- (8) ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。
 (9) すべての人に幸せが来ますように。
 (10) 今年一年何事もありませんように。

5. 「ようになる」 6. 「ようにする」の「よう」について

ここでは5「ようになる」と6「ようにする」を合わせて考えます。

4「祈願・願望」で、「ように」は「そういう結果、そういう状態に」「行きつく」「なる」という意味を含んでいると説明しました。「ようになる」「ようにする」についても同じことが言えます。

「～ようになる」はある過程を経て、そのような状態に「なる」ことを表します。下の(13)に「ように」を使ったことばを入れてください。

- (11) うちの子は8か月で歩けるようになった。
 (12) 彼は最近政治に興味を持つようになったそうだ。
 (13) ニュースの日本語が _____ になりたい。

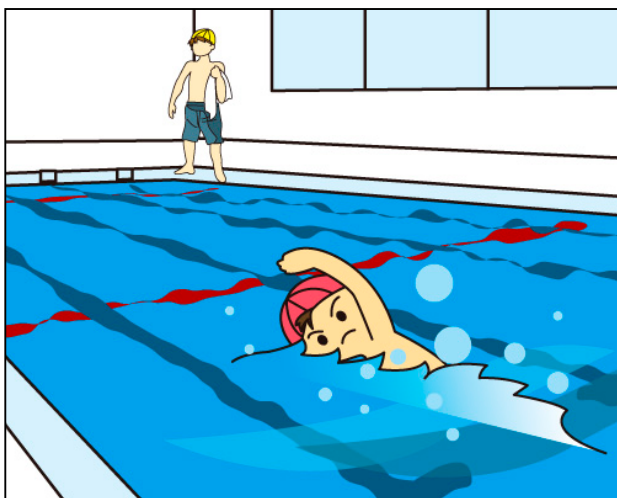
(13)の答えは「分かるように／聞けるように」ですね。

一方、「～ようにする」は、努力をして、また、工夫をして、そのように「する」ことを表します。

- (14)どんな時でも、自分の意見をはっきり言うようにしましょう。
 (15) A：体調大丈夫ですか。
 B：ありがとうございます。
 A：無理をしないようにしてください。
 (16)ゴミ出しや買物など、短時間の外出でも鍵をかけるようにしてください。

7. 「目的（結果）」の「よう」について*

「目的（結果）」を表す「よう」は、「文1」ように、「文2」の形をとって、「文1」で「そういう結果・状態」になることを願って、「文2」で「そのための努力をする／している」という意味合いを表します。



- (17)25メートル泳げるように、毎日練習している。
 (18)子供が元気に育つように、親は頑張っている。
 (19)虫歯にならないように、丁寧に歯をみがきなさい。
 (20)患者を待たせないように、予約制をとっている病院が多い。

目的（結果）の「ように」の前には、動詞の可能形(17)、自動詞(18)、動詞のナイ形(19)(20)が来ることが多いです。

「ように」が目的（結果）を表すので、目的「ために」とどう違うのかという問題が出てきます。次のa bは、両方とも「大学院に入る」という目的で、「一生懸命勉強している」という内容を表しています。

- (21) a. 大学院に入れるように、一生懸命勉強しています。
 b. 大学院に入るために、一生懸命勉強しています。

「ように」と「ために」の違いは、一言で言うと、話し手の伝え方の違いということになります。「ように」はaでは、話し手「大学院に入る」という過程や結果に重点を置いて、「そういう状況

態になる（ことができる）ことを願って（勉強する）」という意味になり、bの「ために」は、「大学院に入ることを目的として、それだけを目指して、（勉強する）」という、話し手の意志的な、積極的な気持ちや姿勢を表します。

- (17)～(20)の中から(18)(19)を取り上げて考えてみましょう。
 (18)は「子供が元気に育つ」、(19)は「虫歯にならない」という過程・結果を重視した文なので、「ように」が適切です。もし、意志的、積極的な目的表現にしたければ、「(18)」「(19)」のように、文を修正する必要があります。

- (18)子供を元気に育てるために、親は頑張っている。
 (19)虫歯を予防するために、丁寧に歯をみがきなさい。

(18)では、「(元気に)育つ」の代わりに「(元気に)育てる」、(19)では「(虫歯に)ならない」の代わりに「(虫歯を)予防する」という意志的な動詞を用いています。

8. 「例示」9. 「前置き」の「よう」について

8の「例示」は「ように」を用いて、例を示す働きをします。

- (22)私がやるようにやってください。
 (23)彼のような真面目な人は誰にでも信頼される。

(22)では、どうすればいいかについて、「私がするやり方で」「私のするとおりに」と、例を示しています。(23)は「真面目な人は信頼される」例として「彼」を出し、「彼のような真面目な人（は誰にでも信頼される）」と表現しています。

9の「前置き」は、話し手が説明を始める時、説明の導入をスムーズにするために冒頭で用いる表現です。「ご存知のように」や「周知のように」などのような、慣用的に決まった言い方になっている場合が多いです。

- (24)皆さんご存じのように、2020年に東京でオリンピックが開催されます。
 (25)周知のように、わが国はいよいよ本格的な超高齢社会に入りました。
 (26)皆様すでにご承知のように、10月23日に新潟地方を中心に大地震が発生しました。

注
 *「ように」と「ために」の違いについては、「文法をやさしく」(2004年1月更新)に詳しい説明があります。参照してください。
http://www.jpff.go.jp/japanese/survey/tsushin/grammar/pdf/tushin48_p22-23.pdf

このコーナーの担当者：市川保子（日本語国際センター客員講師）

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。



は
が
ほど
くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

「～ている・
～ていた」(1)

今回からしばらく、皆さんがすでに知っていることを、もう少し深く、応用的な部分を含めて考えていきたいと思います。今回は「～ている」と「～ていた」について考えます。

「子供が庭で遊んでいる」を過去にすると、「子供が庭で遊んでいた」になりますが、この「～ていた」はどんな状況で使われるのでしょうか。同じ過去でも「新婚当時はよく夫婦喧嘩をした」と「新婚当時はよく夫婦喧嘩をしていた」はどう違うのでしょうか。

「～ていた」に入る前に、まず「～ている」についての復習をしておきます。*1

1. 「～ている」について

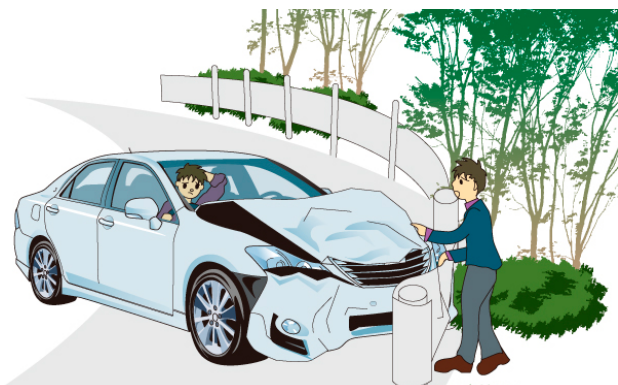
以下の会話には「～ている」(下線部分)が出てきますが、話し手はどういう意味で「～ている」を使っているかを考えてください。

(1) <皇居 (the Imperial Palace) の近くで>

- A: たくさんの方がジョギングをしていますね。①
B: ええ、私もときどきします。
A: Cさんは。
C: ぼくも週3回は走っていますよ。②

(2) <ドライブの途中で>

- A: あ、ガードレールにぶつかりますよ。
B: あっ。 <ガチャーン!!>
.....
<Aさんが車の外に出る。>
A: あっ、バンパーが.....
B: 壊れましたか。
A: ええ、壊れています。ボンネットもかなりへこんでいますね。



(1)①で話し手Aは、皇居の周り(皇居の周りはジョギングコースとして有名です。)で走っている人達を見て、その今の動きを「～ている」で表しています。②の「走っています」は習慣を表します。「走ります」(Bの「ときどきします」も同じ)も「走っています」も習慣を表しますが、「走ります」が単なる現在の習慣を表すのに対し、「走っています」は、「以前始まった習慣が今も変わらず続いている」というようにやや具体的な説明になります。*2

(2)では、Bが運転している車がガードレールにぶつかって、バンパーやボンネットが壊れたようです。それを見たAが、その状態(壊れた結果の状態)を「～ている」を用いてBに伝えていきます。

以上まとめると、(1)の「～ている」は動作の進行・継続を、(2)は結果の状態を表します。

(3) <母手作りのケーキを前に>

- 母: さあ、いただきますよ。
<ピンポン(チャイムが鳴る)>
母: あ、誰か来たみたい。ちょっと待ってね。
まだ食べちゃだめよ。
子供(兄弟): はーい。
<しばらくして>
母: あ、ごめんね。宅急便さんだった。
兄: 悠はもうケーキを食べている。①
母: もう食べているの。② だめじゃないの。
弟: ごめん、でも、ちょっとしか食べていないよ。③

(3)は母と子の会話です。母親がまだ食べないように言ったのに、弟の悠君は母親が戻ってくる前に食べ始めたようです。それを兄が「悠はもう食べている」と報告しています。①と②の「食べている」は同じ用法で、「食べる」という動作が「実現」している(ここでは開始している)という意味を表します。一方、③の「食べていない」は「食べている」の否定形ですが、弟に言わせれば「(ちょっとしか)食べていない」、つまり、「食べる」ことがあまり「実現」していないという「未実現」を表します。「未実現」は「未完了」と同じだと考えてもいいでしょう。

したがって、(3)の①②「～ている」は実現、③の「～ていない」は未実現を表します。

では、次からは皆さん自身で考えてください。会話に出てくる「～ている」はどのような意味用法を表すでしょうか。

(4) <Aさんは外国の観光客、Bさんは商店街の人です。
朝、商店街で「ガラガラガラ・・・」という音がするのを聞いて>
A：何の音ですか。
B：今、店のシャッターがいつせいに開いているんです。①
A：ああ、本当ですね。全部自動ですね。
店は何時まで開いているんですか。②
B：だいたい午後9時まで開いていますよ。②
でも、うちは10時まで開いていますよ。③
④① ② ③



(5) A：最近こわい事件が多いですね。
B：ええ、きのうもありましたね。
A：どうしてあんなことが起こったんでしょうね。
A：本当ですね。
B：最近、月に1回はこわい事件が起こっていますね。
⑤

(4)①は店のシャッターが今ガラガラと開いている途中ですから、「動作の進行」を表します。②(2つあります)は朝何時かに店が開いて、その結果の状態が続いていることを表します。③は「開けて+いる」なので、動作主が今店を開けつつあるという「動作の進行」を表していると考えがちですが、これは朝何時かに店の人が店を開けて、その結果の状態が続いていることを表します。②の「開いている」と③の「開けている」は、ここでは両方とも「状態」を表しますが、「開けている」は人の動作・行為、または、動作主の意志に視点(注意点)が置かれ、誰かが開けて、その状態が続いているという意味になります。
(5)の「～ている」は、物事(5)では事件が繰り返す起ったり、物事を繰り返す起こしたりする「反復」を表します。次のように「たびたび」「しょっちゅう」や、「いつも」「よく」などの頻度を表す副詞とともに用いられることが多いです。

- i. この地域はたびたび津波に襲われている。
- ii. このあたりでは、いつも道路工事が行われている。

(6) A：アフリカに行ったことある？
B：ううん、ない。Aさんは？
A：ぼくも行ったことないよ。
でも、Cさんは行ったことがあるんだって。
B：へえー。
A：彼は冒険家だから、アフリカには3回も行っているそうだよ。
⑥

(6)の「行っている」は「経歴や記録」を表します。過去に起こったことが現在と何らかの関わりがある場合、「経歴や記録」として述べられています。*3ここでは、アフリカへ行ったことが話題になっていて、AがCのアフリカ行きの経験について話しています。(6)の会話の1行目と4行目に出ている「行ったことがある」も経験を表しますが、「～ことがある」が経験を相手に積極的に伝えようとするのに対して、「～ている」は、むしろ過去の記録・経歴として示す時に使われます。

- i. 彼女はベストセラーの本はすべて読んでいます。
- ii. ゴーギャンはタヒチの女性だけでなく、静かな風景画もいくつか描いている。

では、次の(7)の「とがっている」はどんな意味を表すか考えてください。

(7) A：すみません。何か切るものありますか。
B：このはさみでいいですか。
A：あ、すみません。
B：先がとがっているから、気をつけてください。
⑦

この「とがっている」は一時的な状態ではなく、そのものが持つ恒常的な性質・特徴を表します。(7)では、はさみの先が細く、鋭くなっていることを表します。このような「～ている」には次のようなものがあります。

- i. このあたりは3000メートル以上の山々がそびえている。
- ii. 彼女は大きな目をしている。
- iii. この作品が一番すぐれている

今回出てきた「～ている」の使い方の中で知らないものがありましたか。以上説明した「～ている」の意味用法は次のようになります。

動作の進行・継続 結果の状態 実現・未実現 反復 経歴・記録 性質・特徴

注
*1「文法をやさしく」(2003年9月更新)で基本的なことが詳しく説明されているので、該当項目を参考にしてください。
*2,3 砂川有里子(1986)『セルフ・マスターズシリーズ2 する・した・している』くろしお出版

このコーナーの担当者：市川保子(日本語国際センター客員講師)
このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。



は が ほど くらい

文法を楽しく!!

ぶん ぼう たの

「～ている・～ていた」(2)

前回の「～ている・～ていた(1)」では「～ている」のいろいろな意味用法について見てきました。今回は「～ていた」について考えます。

次のような「～ていた」を用いた文はどんな時に使われるでしょうか。

- (1) 子どもはテレビを見ていた。
- (2) 車が止まっていた。

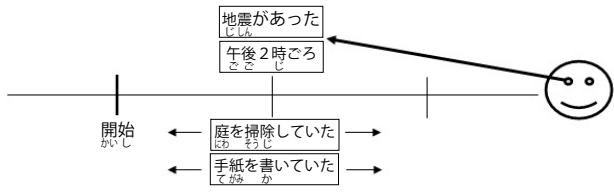
皆さんの頭の中に浮かんでくるのは、次のように、過去のある時点の「その時(は) / そのころ(は) / その時点で(は)」+「～ていた」ではないでしょうか。

- (1)' 私が帰宅した時、子どもはテレビを見ていた。
- (2)' 夕方5時ごろ、ここに車が止まっていた。

では、まず、「～ていた」がよく使用される用法について見てみましょう。ここでは、(1)の「動作の進行・継続」、(2)の「結果の状態」、および、「反事実過去」を取り上げます。

1. 「動作の進行・継続」の「～ていた」の場合

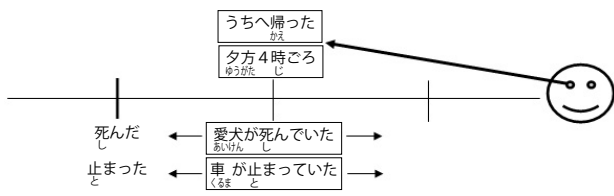
- (3) 地震があった時、私は庭の掃除をしていた。
- (4) A: きのうの午後2時ごろは何をしていたの?
B: 部屋で手紙を書いていたよ。



話し手(☺)の注意は過去のある時点に置かれ、その時点ですでに、「庭を掃除する」「手紙を書く」という行為が開始され、その時点まで続いていたことを表します。つまり、「動作の進行・継続」の「～ていた」は、過去のある時点で物事が一定時間続いていたことを表します。

2. 「動作・動きの結果の状態」の「～ていた」

- (5) うちへ帰った時、愛犬のフクはもう死んでいた。
- (6) 警察官: いつ白い車を見かけましたか。
近所の人: 昼ごろにはなかったけど、夕方4時ごろにはここに止まっていた。



1と同様、話し手の注意は過去のある時点に置かれ、その時にはすでに愛犬は死んだ状態、車は止まった状態であったことを表しています。つまり、「動作・動きの結果の状態」を表す「～ていた」は、過去のある時点で事態はすでに終わっていて、その結果の状態が残っていることを表します。

以上の1、2については、次の(7)の「反復」や、(8)の「記録・経歴」を表す「～ていた」などにも同じことが言え、「過去のある時点で、すでに反復や記録・経歴が行われていた」ことを表します。

- (7) この川はしばしば氾濫を起こしていた。
- (8) マラソンがブームになるころには、彼はもう何回か大会に出場していた。

3. 反事実過去(～ていば/ていたら、～)

- (9) もう少し早く出発していれば、電車に(乗れた/乗れていた)だろう。
- (10) もっと前に禁煙していたら、ここまで病気は(悪くならなかった/悪くならなかった)だろう。

反事実過去というのは、実際には起こっていないことに対して、「その時、別のことをしていたら、状況が変わっただろう」と仮の状況を描くものです。仮定のことを述べるので、「～ていば」や「～たら」が使われます。その時点で「早く出発しなかった」「前に禁煙しなかった」わけですから、もっと前に「やっておけばよかった」という「過去の前(過去の過去)のことを想定する」意味で、「～ていた」が現れやすくなります。

「～ていた」の付け方としては、従属節(条件節)のほうに「～ていば」「～ていたら」を付け、主節のほうは、「～ていた」があってもなくてもそれほど違いはありません。

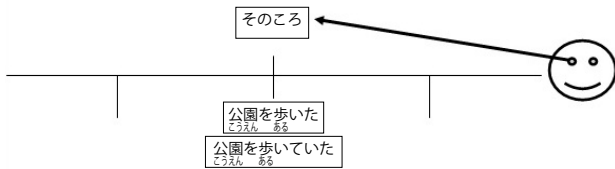
以上、「～ていた」がよく使われる場合について見てきましたが、「～ていた」には次のように「視点」¹に関する使われ方があります。

4. 視点(話し手の注視点)に関わる「～ていた」

1) 「～た」と「～ていた」

次の2文を見てください。2文はどのように違うのでしょうか。

- (11) a. そのころ、僕たちはよく並んで夕暮れの公園を歩いた。
- b. そのころ、僕たちはよく並んで夕暮れの公園を歩いて



(11)で、aは「歩いた」、bは「歩いていた」を使っていますが、a bとも「僕たちが並んで夕暮れの公園を歩いた」ことを表しています。両者には意味的にどのような違いがあるのでしょうか。

次の問題を通して違いを考えてみてください。

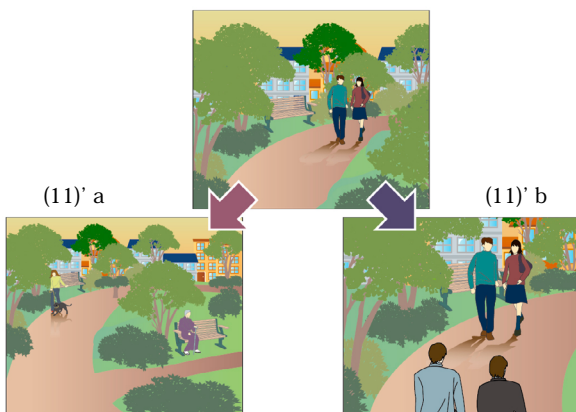
【問題】(11)のa bの後ろに続くのにふさわしい文は、それぞれ、iiのどちらでしょうか。

- i. 夕暮れの公園は静かで、散歩する人もまばらだった。
- ii. ある時、向こうから2人の男がうつむいた状態で歩いてきた。

いかがでしょう。次のようにa-i、b-iiとした方が多かったのではないのでしょうか。

(11) a. そのころ、僕たちはよく並んで夕暮れの公園を歩いた。夕暮れの公園は静かで、散歩する人もまばらだった。
b. そのころ、僕たちはよく並んで夕暮れの公園を歩いていた。ある時、向こうから2人の男がうつむいた状態で歩いてきた。

(11) aは自分たちが公園を散歩する行為について述べていますが、話し手の視線は、公園の全体的な情景の描写に置かれています。単に過去の事実として全体を描写しています。一方、bは「公園を歩いていた。ある時/その時・・・」というように、公園を歩いていた状況に視点を置いて、その時何が起こったのか、どうなったのかと具体的なできごとの描写に移っています。前者では話し手が俯瞰的に物事をとらえて述べているのに対し、後者は視点をもっと近づけて、一つの事柄にスポットを当てている感じがあります。



藤城 (1996)²⁾は、「～ていた」には「出来事を感知したときの観察者の視点を浮かび上がらせる機能がある」と述べ、それを「感知の視点」と呼んでいます。

このコーナーの担当者：市川保子 (日本語国際センター客員講師)

このコーナーについてご感想やご質問があれば送ってください。

次の会話を見てください。次の会話でBは、「来ました」とも「来ていました」とも答えることができます。

(12) A：田中さん、きのうのパーティに来た？
B：a. ええ、来ましたよ。
b. ええ、来ていましたよ。

「来ました」は単に来たか否かについて述べていますが、「来ていました」は、話し手が田中さんが来たことを見て、言い換えれば「来たこと」を「感知し、認識して」述べています。

藤城 (1996)は、「していた」が「感知の視点」を表す場合として、次の二つを挙げています。

- ①文脈から、話者や登場人物の視野に変化があった、または、新しい視野が広がったとき。
- ②話者が、ある出来事を、(外から)感知したものとして提示し、そうすることによって、その出来事と、話者または登場人物との接点のあり方を表そうとする場合。

(11) bは①の場合に当てはまると考えられます。公園を歩いて、2人の男に気がついたというような視野の変化、広がりを見せています。

2) 「(～と) 言っていた」について

では、次に、伝言の時などに用いる「(～と) 言っていた」について考えてみましょう。

あなたは今から知人のDさんに会いに行きます。出かける時、同僚のCさんから「Dさんによろしくね」と言われました。では、Dさんに会った時、あなたは次のどちらを言うでしょうか。

(13) あなた：a. Cさんがよろしくと言いました。
b. Cさんがよろしくと言っていました。

適切なのはbですね。aの「言いました」は、Cさんが言ったか言わなかったかという事実を問題にしていますが、b「言っていました」は、(あなたが) Cさんの言ったことを伝言としてDさんに届けさせようとしています。「言っていました」を用いることで、「よろしく」という内容を相手に伝えていられると考えられます。

これは、話し手であるあなたが、登場人物のCさんとDさんとの接点を示そうとする藤城 (1996)の、「感知の視点」の②の場合だと考えられます。

注

- 1：視点には視線の出発点を意味する場合と、到達点(注視点)を意味する場合があるが、ここでは後者の場合を中心に、話し手が何に注目し、どうとらえ、そして、どう伝えるかという点から考える。
- 2：藤城浩子(1996)「シテイタのもうひとつの機能—感知の視点を表すシテイター」『日本語教育』88号 1-12



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

多文化共生社会を生きる知恵を見つけよう

『異文化理解入門』

著者：原沢伊都夫

出版社：研究社 (http://www.kenkyusha.co.jp/)

発行年月：2013年6月 ISBN：978-4-327-37734-2 C1036

判型・頁数：A5判 236頁 定価：2,310円(税込み)



グローバル化に伴い、外国で仕事をする日本人や、日本で仕事をする外国人も珍しくなくなってきました。異なる文化を持つ者同士が共に暮らす「多文化社会」では、どのようなことに気をつければ「共生」できるでしょうか。今回は、そのヒントをくれる一冊をご紹介します。

▽異文化コミュニケーションの理論を自身の体験につなげる

本書には、私達が文化を異にする人たちとコミュニケーションする際、知っておくべき知識が数多く紹介されています。各章のタイトルは次のとおりです。

第1章	異文化を理解する
第2章	文化とは(その1)
第3章	文化とは(その2)
第4章	異文化適応
第5章	シミュレーション
第6章	違いに気づく
第7章	異文化の認識
第8章	差別を考える
第9章	世界の価値観
第10章	異文化トレーニング
第11章	異文化受容
第12章	自分を知る
第13章	非言語コミュニケーション
第14章	アサーティブ・コミュニケーション
第15章	多文化共生社会の実現に向けて

各章のはじめには、章の内容に関する短い紹介文と4コマ漫画が用意されています。タイトルだけを見ると難しそうなお本に見えますが、思わずクスッと笑える漫画の導入があることで本編の内容がイメージでき、肩の力を抜いて読み進めることができます。

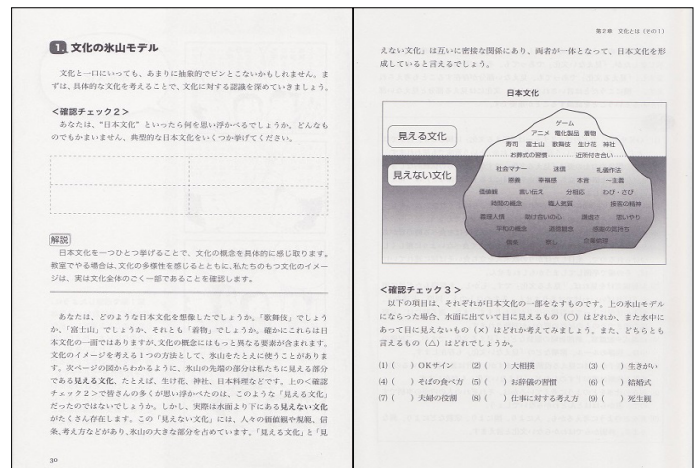
本編は、その章のテーマに関する基礎知識の紹介と、その理解を確認する「確認チェック」および「解説」を中心に構成されていますが、必要に応じて、解答の手がかりとなる「ヒント」や、異文化理解の具体的な事例を示した「考えるポイント」の欄が設けられています。また、その章で扱った内容を、個人やグループで体験する「ワーク」や、その章の内容を自身の経験にひきつけて振り返る「考えよう」のページもあり、知識を得

るだけで終わりにならないような工夫がされています。第2章を例に、内容を見てみましょう。ここでは、最初の「確認チェック」で、「日本文化」と言われて思い浮かぶものを読者に挙げさせます。その結果を受けて、「解説」で、文化は、「寿司」「富士山」などの「見える文化」と、「価値観」「社会マナー」などの「見えない文化」に二分されることを紹介します。これらを理解した上で、次の「確認チェック」で、「ハグ」「割り勘」などの習慣が、読者にとって常識とされる行動かどうか判断させ、常識か非常識かの判断は育ってきた文化によって変わること、これらの行為が持つ意味(「見えない文化」)に対する不理解が異文化摩擦を生む原因になることを「解説」で指摘します。最後に、「考えよう」で、「見えない文化」に関連した自身の経験を振り返り、この章のまとめとします。振り返りでは、「考えるポイント」や異文化体験が豊富な著者の例が紹介された「異文化よもやま話」が参考になります。

▽自分以外の人はずべて異文化

本書が指す「異文化コミュニケーション」は、国、民族、言語の異なる集団に限ったものではなく、「親や兄弟」「配偶者」「他府県の人」「異なる職業の人」とのコミュニケーションも含みます。同国人同士であっても、理解しあえないことはよくありますが、「異なる文化を持っている人」と捉え直せば、理解を深める方策が見つかりそうです。

自身のコミュニケーションスタイルを知りたい人には第12章や第14章が参考になります。また、これから海外で暮らす予定がある人には第4章や第11章、外国人と接触する機会がよくある人には第9章や第10章が参考になります。





本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

スピーチ・ディスカッションを通じて口頭表現能力を向上させる

『もっと 中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』

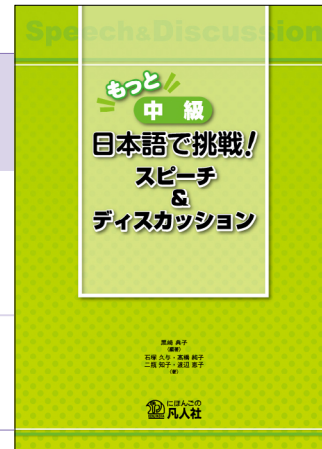
編者：黒崎典子

著者：黒崎典子、石塚久与、高橋純子、二瓶知子、渡辺恵子

出版社：凡人社 (http://www.bonjinsha.com/)

発行年月：2013年1月 ISBN：9784893588449

判型・頁数：B5判 103頁 定価：1,575円(税込み)



中級から上級にかけての学習者が話す力（プレゼンスキルや対話力）を伸ばすためには、どんな授業をしたらいいだろうか、と考えている先生方に、本書は役に立つかもしれません。

本書は、スピーチやディスカッションを通じて、クラス活動やペアワークを充実させ、「公の場でまとまった内容のことを話したり議論をしたりする」ことができるようになることをめざしています。学習対象者は、学習時間が600～750時間程度で、日本語能力試験N2合格レベルの学習者です。

▽本書の構成

本書は、6つの独立したユニットから構成されていますが、全体としてはスパイラル構造になっていて、順番に進めば、後続のユニットに無理なく接続できるようになっています。

UNIT 01	自己紹介 上手に自分をアピールしよう！
UNIT 02	インタビュー 目上の人にインタビューしてみよう！
UNIT 03	スピーチ (1) 1分間で内容豊かに話そう！
UNIT 04	スピーチ (2) 新聞を読んで自分の意見を述べよう！
UNIT 05	ディスカッション (1) 大学生の就職活動
UNIT 06	ディスカッション (2) ほめて育てる？しかって育てる？

ユニット全体の流れを見ると、自分を見つめ、聞き手にアピールすることからはじめ、インタビューで対話力をみがき、一分間スピーチですっきりわかりやすく話す練習を行います。そして、資料を用いて説得力ある意見を述べることに発展させ、さらにディスカッション（調べたことをまとめること・質疑応答をすること）やディベート（異なる意見を持つ相手との

議論）に挑んでいくという流れになっています。最後のユニットでは、特に、相手の話を正確に聞いたうえで話すということも目標になっています。

▽各ユニットの構成

はじめに、自己評価チェックリストを提示し、到達目標を掲げています。次に、アイデア・マップで話すことを整理し、話の流れと表現を学んで、練習します。そして、スピーチやディスカッションの準備（メモ作成、資料読解）を行った後に、発表します。


発表の後には、自己評価チェックリストを使用して自分の発表をふりかえります。さらに、「発展」において、次のユニットに関連した活動を行います。スピーチ・ディスカッションの例はユニット最後に載っています。

本書は『中級日本語で挑戦！スピーチ&ディスカッション』の姉妹編です。考え方、ユニット構成などは共通していますが、こちらはN3合格レベル（学習時間450～600時間）の学習者が対象になっているので、教室にあわせて選ぶことができます。

▶▶▶スピーチの前に

UNIT 03 スピーチ (1)

1分間であなたの伝えたいことを話す練習をしましょう。1分と時間を厳守することで、伝えたいことの優先順位が自然と決まってくるようになります。短い練習時間でも、話す練習を繰り返すことでコミュニケーション能力が伸びるのです。1分間練習しよう。実は、結構長い時間です。この時間練習を繰り返すことで、ホントに良いスピーチをするのにも時間配分の調整ができるようになります。ディスカッションやディベートなど様々な場面での発言力が養われるでしょう。あなたが1分間で話したいテーマについて、下の□にどんな順番で話してみよう。

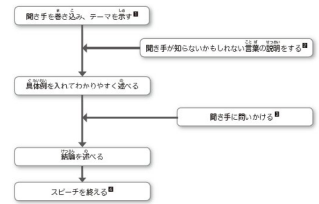


この中から、あなたのテーマを選んで、下の□□に書いてみましょう。

テーマはコレ！ (例) 企業の成長について

UNIT 02 スピーチ (1)

スピーチの流れと表現を勉強しよう！





本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しょしょうかい

『ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 職場のダイバーシティで学び合う【教材編】』

著者：近藤彩、金孝卿、ムグダヤルディー、福永由佳、池田玲子

出版社：ココ出版 (http://www.cocopb.com/)

発行年月：2013年7月 ISBN：978-4-904595-37-4

判型・頁数：B5判 122頁 定価：1,680円(税込)



日本国内でも国外でも、様々な文化や背景を持った人たちが共に働く場が増えていきます。そこでは、喜びと同時に誤解や摩擦が生じます。それぞれの力を発揮し、お互いを大事にしながら共に働くには、問題解決の方法を自分で考える力を持つことが大事です。

本書は、日本語を使って仕事をする(したい)人が、人間関係を上手に保ちながら、問題解決できるようになることを目指した教材です。

今後、本書に続いて「ケース学習」の概念や授業実践例などを紹介する【解説編】が出版予定です。

▽ケースを利用して考える・議論する

本書は、具体的なケース(事例)を素材にディスカッションし、自分達で解決策を考えることが「問題解決」「課題達成」の力を育成することにつながる、との考えから作成されています。

10人のビジネスパーソンが職場での誤解やトラブルのあった体験を語る形で、ケースが挙げられています。

- 日本で働く外国人エンジニアの場合：
締め切り前に、上司が途中経過を知りたいがことに戸惑うケース。
- インド駐在中の日本人の場合：
インド人スタッフからの連絡・相談がなくて情報共有できずに困っているケース。
- 日本で働く外国人の場合：
資料を作成したときに、内容ではなく書式を細かく注意されて理解に苦しむケース。

巻末には語彙リスト(英・中・韓。ウェブ上にインドネシア語)があり、読解の補助とすることができますが、細かい内容理解に時間をかけずに、大体的内容を把握した上でディスカッションに時間を割くのも良いでしょう。ケースは全て著者達が日本、中国、インドで行ったインタビューで聞き取った事例をもとにしていますが、日本人同士でも起こり得る例ばかりです。誰もが自分の考えを持って、仲間と共によりよい解決方法を探っていくことができます。

▽タスクシートとディスカッション

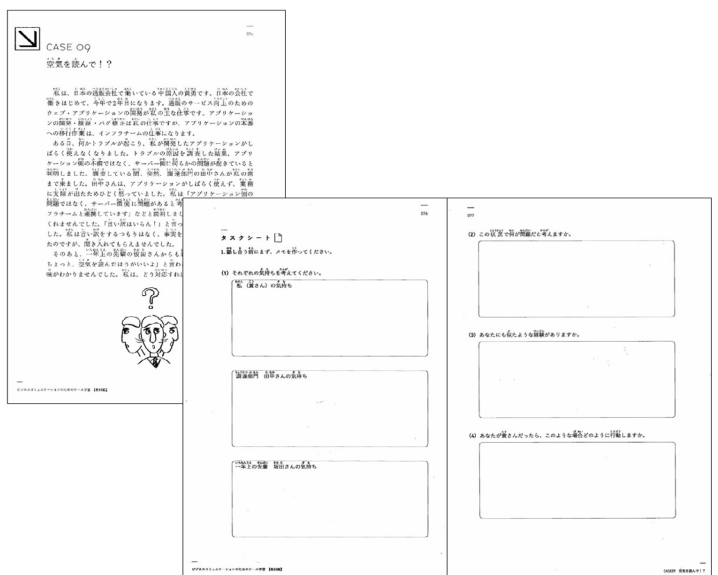
各ケースに続き、タスクシートがあります。仲間とディスカッションする前に、各自で次の点について情報や考えを整理するものです。

- (1) ケースを語った当事者(私)の気持ちと相手(同僚・上司・客など)の気持ち、
- (2) 何が問題だったのか、
- (3) 自分も似たような経験があるか、
- (4) 自分が当事者だったらどのように行動するか、
- (5) もし当事者に相談されたらどうアドバイスするか。

その後、グループやペアでディスカッションをしながら、新しい考えや意見をシートに書き込んだり、気づいたことを共有したりします。ここでは、協働で問題解決を目指す過程を体験することが大事にされています。問題の答えは提示されていませんが、各ケースの最後にあるコラム「ケースの裏側」では、相手の気持ちや考え方をしり、解決のヒントとすることができます。ディスカッションの途中や最後に参考にできるでしょう。

▽教師の役割

著者は「学習者同士が討論をしながら解決策を練りだしていく授業をデザインし、支援をしていく役割」を教師は担うと述べています。学習者が自律的に話し合い、問題解決の過程を経験する手助けをするために、教師も、本書を活用した実践を通して、より良い関わり方を探っていくことになるのだらうと思います。





本ばこ

ほん

一新刊教材・図書紹介

しん かん きょうざい と しょしょうかい

「対話原理 (ダイアロジズム)」との対話

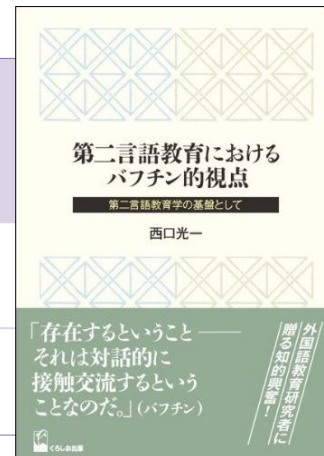
『第二言語教育におけるバフチンの視点
—第二言語教育学の基盤として—』

著者：西口光一

出版社：くろしお出版 (<http://www.9640.jp/xoops/>)

発行年月：2013年10月 ISBN：9784874246047

判型・頁数：A5判 248頁 定価：2,940円(税込み)



皆さんは、この本はどんな本だと思いますか。題名に「第二言語教育」とあるので、私達日本語教師にも関係ある本ということも分かって、どんな内容なのかは想像しがたいのではないのでしょうか。毛色の変わった本、難解な本…そんな印象ではないでしょうか。

あとがきで著者は「本研究は、日本語教育者である筆者とバフチンとの約10年にわたる対話のまとめである」と書いています。では、バフチンとは誰なのでしょう。著者はバフチンとどのような対話をしたのでしょうか。

▽バフチン

ミハイル・バフチン (Mikhail Mikhailovich Bakhtin, 1895～1975) は、ロシアの言語哲学者、思想家、文芸評論家として知られている人です。著者はバフチンについて次のように書いています。「大部分の第二言語教育の実践者と第二言語教育研究者にとって、バフチンというの聞き慣れない名前であろう。その一方で、バフチンとの「対話」を試みたことのある人は、バフチンが言語やコミュニケーションや心理などについて非常に重要なことを言っていると感じたであろう。しかし、同時に、その思想の全体像は何とも捉えがたいと思ったにちがいない。」

▽理論的研究とその応用例

本書の構成を紹介しましょう。

第1章	言語へのバフチンの基本的視線
第2章	抽象的客観主義批判から発話の言語論へ
第3章	人間の主観的心理
第4章	ヴィゴツキー心理学から見た第二言語の習得
第5章	ことばのジャンルと言語の習得
第6章	言語活動従事に関与している知識は何か
第7章	形象世界における自己創作
第8章	対話と対話原理
第9章	基礎日本語の学習と教育における自己と言語
第10章	母語話者による第二言語話者の語りの支援

1章から8章は「第二言語教育学の関心に沿ったバフチン言語論の仕立て直し」で、「第二言語教育のための言語と心理についての理論的研究」です。そして、9章と10章はその言語観の日本語教育と日本語教育研究の応用例です。9章ではマスターテキスト・アプローチという方法での日本語の教え方が具体的に提案されています。また、10章では日本語母語話者と日本語学習者のやり取りが分析され、母語話者の学習者に対する支援について考察されています。そして、これらがどのような点でバフチンの言語観に則しているのかが明らかにされています。

▽対話の中味

では、著者はバフチンとどのような対話をを行ったのでしょうか。約10年に及ぶ対話をまとめるのは困難ですので、筆者にとって興味深いところを一つだけ紹介しましょう。

まず著者は、ソシユールの言語観、つまり言語をラング(社会的規範の体系としての言語)とパロール(個々人の個別的な言語)に分け、ラングのみを言語学の研究対象とした言語観に対するバフチンの批判を辿ります。そして、バフチンがそれ自体を抽象的、客観主義的、そしてモノロジズムであると述べていることを明らかにします。その上で、「バフチンの視点」の根底にある「対話原理(ダイアロジズム)」が何かについて考察していきます。それは「ことばのやり取りを伴う人と人との接触・交流を、そして人間の意識や心理のあり様を、そのように対話的にみるという主義あるいは流儀」であり、具体的、主観的なものであると言うのです。さらに著者は、コミュニカティブ・アプローチを含む最近までの日本語教育・日本語教育学はソシユールのパラダイム(ラングにこだわった教育・研究)に基づくものであると批判し、それに代わるパラダイムとして「バフチンの視点(個々人の接触・交流からなる「対話」を重視すること)を提案するのです。」

この本は、言語学や心理学や外国語教育に関する知識や経験がないととつきにくいかもしれませんが。しかし、時間をかけてこの本と「対話」をしてみれば、必ず多くのことを語ってくれることでしょう。



本ばこ

ほん

— 新刊教材・図書紹介 —

しん かん きょうざい と しよしょうかい

読解授業のあれこれがつまった、わかりやすい教師用参考書

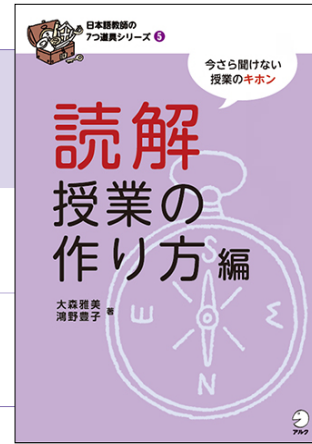
『日本語教師の7つ道具シリーズ5 読解授業の作り方編』

著者：大森雅美、鴻野豊子

出版社：アルク (http://www.alc.co.jp/)

発行年月：2013年12月 ISBN：978-4757424050

判型・頁数：B5判 128頁 定価：2,100円(税込み)



本書は、読解授業をテーマにした教師のための参考書です。何を読むか、どう読むか、どう教えるか、という観点から、教師にとって必要な情報や役に立つ実践例がわかりやすく示されています。

▽本書の構成

本書の構成と内容は以下の通りです。

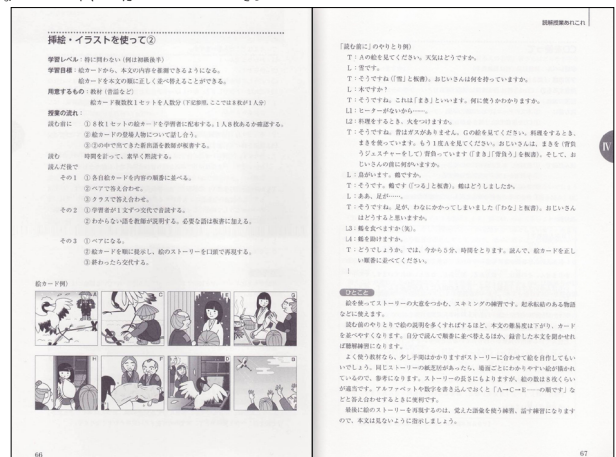
I 読解授業は難しい?
読解授業の目的とは?
いきなり読むのは難しい
読んでいる間、教師は?
理解度をどうやって確認する?
読解授業のカリキュラムって?
II 教える前に
1 読み方の種類
2 読解授業の目的
III 授業を組み立てよう
1 基本の流れ
2 教材を準備する
3 カリキュラムの作り方
4 評価する
IV 読解授業あれこれ
読み方いろいろ
読み物いろいろ
読んだ後のバリエーション
お薦めの読解授業素材
巻末付録

のものを身につけることだけで授業を終わらせるのではなく、「読み」を楽しむことです。「読み」は本来、内容理解をして終わりではなく、そこから考える、感じるなどほかの行為につながっていくものです。そこで、授業では質問に対しての「正答を求める読み」から「思考を求める読み」にするための工夫が必要となります。例えば、読んだ後で、考えたことをクラスで話し共有し合うことで他者の価値観を知り、読み手の思考を深めることが可能になると著者は述べています。さらに教師は、学習者が「自立した読み手」として読みたいものや、読む必要のあるものを自分で読めるようになるために、教室でできることは何か考えることが大切だとしています。

▽どうやって教えればいいのか?

第III章、第IV章では、授業の設計と指導について実践的な情報が次々に提供されます。第III章では、まず精読の授業について、「読む前に」→「読む」→「読んだ後で」という3段階の「基本の流れ」に沿って、教え方が丁寧に紹介されています。さらに、教材の作り方、評価、カリキュラムデザインまで事例つきでとりあげられています。第IV章はリソース集的で、読み方、読み物、読んだあとの活動としてバリエーション豊かな様々な授業の例があります。

本書は、教師が実際に行っていく作業一つ一つを具体的にとらえ、かつ幅広く扱っています。また、教育現場に直結した実践例や情報が豊富だけでなく、たいへん丁寧に読みやすく書かれています。経験の浅い教師にはもちろん、ベテランの教師にとっても信頼できる参考書として役に立ちそうな1冊です。



▽「読み」を教える目的とは?

第I章では、読解授業の目的や手順、教師の役割などを教師と学習者双方の立場から振り返ります。そして第II章では、読み方と読む目的の切り口に、「文を読む」という行為についての解説が続きます。授業では音読や精読に偏りがちですが、読み方は、朗読、黙読、速読、多読とほかにも様々あり、目的にあわせて読む実践力を養う必要があるとしています。また、著者が特に強調しているのは、日本語の使い方や読解力